

## 2011年 若手外国人農林水産研究者表彰 募集要項

### 1. 目的

本表彰は、日本が行う開発途上地域の農林水産業及び関連産業に関する研究開発に貢献する若手の外国人研究者の一層の意欲向上に資することを目的とする。そのため、優れた功績をあげている若手の外国人研究者又は将来の技術革新等につながる優れた研究業績をあげつつある若手の外国人研究者に対して、若手外国人農林水産研究者奨励賞を授与する。

### 2. 表彰対象となる研究分野

開発途上地域の農林水産業及び関連産業に関する研究全般を対象とし、食品産業、環境分野、森林・林野分野及び海洋・水産分野も含まれる。また、基礎的な研究や社会経済的な研究分野も対象とする。

### 3. 表彰の対象者

海外の公立及び民間の農林水産研究機関、大学、国際農林水産研究機関等の農林水産研究機関で研究開発の業務に従事する個人を対象とする。2011年の1月1日時点において40歳未満の研究者であって、次の各号の一に該当する者で、2011年11月14日に日本で開催予定の表彰式及び成果発表会への出席が可能な者。

- (a) 開発途上地域の農林水産業及び関連産業の研究開発に優れた功績があり、将来が大きく期待される者
- (b) 開発途上地域の農林水産業及び関連産業の研究開発の業務において、将来の技術革新等につながる優れた研究業績があり、将来が大きく期待される者

- 表彰対象者については、日本国以外の国籍を有し、日本国外で活動する研究者とする。
- 日本国内で活動する若手外国人研究者については、日本国内における若手農林水産研究者表彰で対象としていることから、本件表彰の対象としない。
- 受賞を逃した場合、翌年以降の再応募は妨げない。

### 4. 受賞者数

受賞者は、毎年3名以内とする。

### 5. 表彰の内容

受賞者には、若手外国人農林水産研究者奨励賞として賞状を授与する。

また、(独)国際農林水産業研究センター(JIRCAS)から奨励金(1名につき5千米ドル)を授与するとともに、表彰式及び日本における成果発表のために日本に招へいする。

### 6. 申請方法

申請書類は「若手外国人農林水産研究者表彰申請書類作成要領」に従って作成し、推薦研究機関が郵送で提出する。また、選考会準備のため、ワープロソフトで作成した電子ファイルを推薦研究機関が電子メール添付でも提出する。

なお、当該機関からの推薦は、支所も含めて毎年1名に限る。

申請書類とともに、候補者の業績内容を確認できる資料(もっとも重要な研究論文3編と、その他技術解説書など)と候補者の研究に直接関連のある出版物すべてのリストを提出すること。

申請書類記載事項において、本要項の記載事項並びに所定の様式を満足しない場合又は、不実、虚偽の記載の事実等があった場合は、審査の対象から除外する。

また、1研究機関から2名以上の推薦があった場合、事務局から各機関に対し候補者を1名に絞るよう要請し、事務局が指定した期限までに回答がない場合は、当該機関からのすべての

申請を審査の対象から除外する。

## 7. 受賞者の決定方法

受賞者は、申請のあった者の中から選考委員会における審査・選考を経た上で、決定する。

## 8. 選考基準

選考委員会は、表彰の対象となる功績又は業績について、以下の視点に留意して審査・選考に当たる。

- 研究開発の内容が、独創性の高いものであること
- 研究開発が、学会誌・雑誌等に論文が掲載される等、実績が客観的評価を得ているものであること  
研究開発の内容が、開発途上国の農林水産業及び関連産業の発展等に向けた普及・事業化に配慮がなされたものであること
- 研究開発が、現時点においては完成度・普及性等が必ずしも十分ではなくても、将来的に大きな発展が期待され、革新的な技術・手法等につながると予見されるものであること
- 研究が日本の研究機関等との関わりがあること

## 9. 評価項目

選考委員会の評価では、5個の個別評価項目（独創性、研究開発のレベル、普及・実用化、将来性、日本との関わり）について評価を行うとともに、将来性等の総合所見を記入する。

### (a) 個別評価項目における視点及び配点（合計 25 点）

- 独創性（5点）：研究開発の内容が、従来の概念にとらわれず独創性のあるもの。論文以外に特許出願等も評価する。
- 研究開発のレベル（5点）：学会誌・雑誌等に論文が掲載される等、実績が客観的評価を得ているものであること。
- 普及・実用化（5点）：研究開始から普及・事業化を見据えて取り組んでおり、関係者との連携（実証試験を行う、実需者の評価を受ける等）を取りながら研究をすすめているものであること。
- 将来性（5点）：研究開発が、現時点では基礎的研究であり実用化はまだであるが、将来的に大きな発展が期待され、革新的な技術・手法等につながると目されるものであること。
- 日本との関わり（5点）
  - 日本の研究機関等での研究経験があること。
  - 日本の研究機関等との共同研究があること。

### (b) その他の留意事項

- 共同研究による研究成果の取扱いについては、候補者が当該研究テーマの遂行にどの程度貢献したかを共同研究者との相対的關係から評価する。
- 本来の企業活動の結果であっても、選考基準に該当する成果についてはそれを適正に評価する。
- 候補者の推薦機関に係る審査委員は、当該候補者の審査及び採点に加わらない。

## 10. 申請から表彰までの日程

推薦機関からの申請書類提出期限	2011年8月12日
候補者選考	2011年9月
受賞者決定	2011年10月
表彰の実施	2011年11月14日

情報入手先

独立行政法人 国際農林水産業研究センター  
ホームページ <http://www.jircas.affrc.go.jp/index.html>

問い合わせ先

独立行政法人 国際農林水産業研究センター  
e-メール： [jaward2011@ml.affrc.go.jp](mailto:jaward2011@ml.affrc.go.jp) TEL：029-838-6336

応募書類提出先

〒305-8686 茨城県つくば市大わし1-1  
独立行政法人国際農林水産業研究センター  
企画調整部 企画管理室 研究交流科 若手外国人農林水産研究者表彰事務局